

伊賀健一・東工大前学長に授賞決定（2013 年度）
フランクリン賞 “The Bower Award”
世界的学術賞の一つ -フランクリン財団から-

伊賀健一・東工大前学長はレーザーの研究者として知られていますが、この度 The Franklin Institute (フランクリン財団: 米国 Philadelphia 市) から、フランクリン賞の一つである 2013 年度の The Bower Award and Prize for Achievement in Science を受賞することになりました。

Benjamin Franklin は嵐を用いて雷が電気であることを発見した物理学者で、The Franklin Institute はフランクリンを記念し、科学・技術の啓発・普及を目的として 1824 年に創設された非営利の学術財団で、米国 Philadelphia 市に本部を置いています。

フランクリン賞(Franklin Awards)は 1832 年からいくつかの名前を冠した賞があり、Alexander Graham Bell, Leo Esaki 等が受賞しています。現在下記の 2 つの名称のもとに、最も伝統のある世界的な学術賞とされており。

- The Bower Award (科学, 経営の 2 部門),
- Benjamin Franklin Medal (物理, 化学, 生命科学, 工学, 計算機・認知科学の 5 部門)

伊賀健一前学長への The Bower Award (科学部門) 授賞理由:

「The conception and development of the vertical cavity surface emitting laser and its multiple applications to optoelectronics」

(面発光レーザーの発案と光エレクトロニクスへの広範な応用への研究)

授賞式はフィラデルフィア市の The Franklin Institute で行われます。1 週間にわたり授賞式や夕食会を含む大きなイベントが毎年開催されています。

The Bower Award は、1990 年に Philadelphia 市の化学者である Henry Bower 氏からの 750 万ドルの寄附により創設された賞で、受賞者には賞金 25 万ドルが授与されます。

今回、伊賀前学長は科学部門の The Bower Award and Prize for Achievement in Science を受賞します。過去の受賞者のリストは下記の通りで、ノーベル賞受賞者 (Paul C. Lauterbur) を含む著名な研究者が名前を連ねています。日本人では、金出武雄教授 (カーネギーメロン大) に次ぐ二人目ですが、日本在住としては初の受賞となります。

The List of Bower Award and Prize for Achievement in Science Laureates

2013	Kenichi Iga	2002	John W. Cahn
2012	Louis E. Brus	2001	Paul Baran
2011	George Church	2000	Alexander Rich
2010	W. Richard Peltier	1999	Ralph J. Cicerone
2009	Sandra M. Faber	1998	Sir Martin J. Rees
2008	Takeo Kanade	1997	Ralph L. Brinster
2007	Stuart K. Card	1995/96	Frederick P. Brooks
2006	Narain G. Hingorani	1994/95	Chen Ning Yang
2005	Henri B. Kagan	1993/94	Isabella L. Karle
2004	Seymour Benzer	1992/93	Denis Parsons Burkitt
2003	Paul B. MacCready	1991/92	Solomon H. Snyder
		1990/91	Paul C. Lauterbur

【参考】 Benjamin Franklin Medal

もう一つのフランクリン賞である Benjamin Franklin Medal は旧名の The Franklin Medal を統合して 1984 年に創設されています。受賞者の中には、Thomas Edison, Wright 兄弟, Alexander Graham Bell などの発明家, Marie Curie, J. J. Thomson, Albert Einstein, Wolfgang Pauli, Leo Esaki などの物理学者や工学者が連なり、のちに多くの人がノーベル賞を受賞しています。広範囲の学術、特に工学、情報学、ビジネス分野で非常に権威の高いものとされています。日本からは、小柴昌俊、戸塚洋二、南部陽一郎、外村 彰、中村修二、飯島澄男等が受賞しています。

【参考】 Franklin Institute ホームページ

<http://www.fi.edu/franklinawards/>